

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第50号
令和3年11月15日

11月「霜月」「November」から、12月「師走」「霜月」「December」へ。
先日、夕方菊池川の土手を車で走っていると鳥の集団が夕日を背景に飛んでいました。清少納言は『枕草子』の中で、秋の季節の素晴らしさを「をかし」という言葉を使って表現しています。



秋は夕暮。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言うべきにあらず。

日に日に菊池川の川面に浮かぶ鳥（鳥の種類は不明ですが…）の数が増えているようです。遠路はるばるやってきた鳥たちです。一冬、玉名の地で安心してゆっくりと過ごすことができますように。

けふからは 日本の雁ぞ 楽に寝ろ （小林一茶）

そして、清少納言が言う「まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし」の光景が見られるといいですね。

今回は玉陵小中学校区の活動の様子を紹介します。

小中一貫教育校として玉陵小・玉陵中の学校運営協議会は小中合同です。昨年度、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣賞を受賞しています。



小中合同の活動



小中合同環境ボランティア(秋)



小中合同環境ボランティア(春)



小中合同サツマイモ植え



小中合同あいさつ運動



新玉名駅



おもてなしフラワープロジェクト

○環境委員長「コロナ禍でも、見た人が明るい気持ちになると嬉しいです。」
○駅長さん「大事に育てた花を届けてもらい、ありがたい。皆さんの力を借りて花があふれる駅にしたい。」

児童の声：学校運営協議会の方に教えてもらって、最初は難しかったけれどだんだん慣れてきました。



金栗四三子供ボランティアガイド

土日祝日に小中学校の有志が観光客に説明する。地域の方(小田校区住民)に指導していただき、知らない大人にも堂々と説明できるようになった。観光客に好評である。(※裏面参照)

裏面あり

